

八雲町文書管理システム導入事業  
公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、文書のライフサイクル（収受、起案、施行、保存、引継ぎ、廃棄等）の処理を一元的に管理し、適正な文書管理事務を実現するとともに、業務の効率化を図るための文書管理システム導入に向けて、創造性豊かな技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で、焦点があてられたのは、電子決裁によるペーパーレス化、一連の業務フローの一元管理、職員の業務の効率化・負担軽減、セキュリティ面、本稼働に向けた職員の研修、本稼働後の運用保守及び他システムとの連携を見据えた提案でした。

技術提案者による提案内容には、これらへの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が的確性や独創性、実現性などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

また、道内自治体の導入実績もあり、職員が使いやすいようなユニバーサルデザインを意識され、将来的な拡張として「電子契約・署名機能」や「財務会計システムとの連携」が可能であり、本事業目的に合致した提案内容でありました。

選定委員会は、プレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本業務の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な文書管理システム導入が期待できる技術提案者を受注候補者として選定いたしました。

八雲町文書管理システム導入事業

プロポーザル審査会審査員長 八雲町 副町長 成 田 耕 治